

ごくごく簡単な自閉症の説明（高校生バージョン）

【自閉症って】

「自閉症」とは、生活の環境や育て方からくる「情緒障害」や、自分のカラに閉じこもっている状態ではなくて、生まれ持った、生涯サポートが必要な「発達障害」
その特徴は、この三つ。

- ① 人との関係がわかりにくい。ルールがすぐにわからない
- ② 言葉が上手につかえない。コミュニケーションがうまくできにくい
- ③ クセが人より多い。予想するとか想像するとかが苦手

「自閉症」と「知的障害（知的な遅れ）」は違うもの。自閉症は「発達のかたより」と考えるとわかりやすい。でも、だいたい4分の3の子どもは、「知的な遅れ」も伴っている。
男女比は4：1で男の子に多く、生まれてくる割合は、約100人に1人。

【自閉症の人たちが、あなたと違うところ】

- 感覚が独特。たとえば見え方や聞こえ方、肌の感覚なんかが、かなり違う
- 能力がアンバランス。興味のあることは、ビックリするほど得意だったりする
- その時、何していいかわかりにくかったりする。すぐに「絵に描けないこと」は、わかりにくい（例：「ちゃんと」と「ボール」をイメージしてみても）
- 「何分たった」「あと何分」といった時間の経過とか「上下」「左右」「前後」といった空間がはっきりとわかりにくい
- 人と、積極的にやりとりして遊ぶのが、あんまり好きじゃないこともある
- 言葉を話すのは、とても苦手だし、表現が人に向かないことも多い
- 「やったね！出来たね！」という気持ちが少ない。それに、「これ以上はダメ」とか、「そこまでにしておこう」とかは、枠を自分で決められない
- 急に変更があったり、物の場所が変わったりするのは、ツラク感じる。別の遊び、新しいことをするのに、すぐには、わかってくれなかったりする
- 言葉を「聞き取る」のは苦手。でも、実物や絵、文字を「見て理解する」のは得意
- 同じ場所に来ると、同じことをしたがつたり、融通がきかなかつたりする
- 繰り返し同じ遊びをしていることがある。それで、安心していることもあるし、次にすることがわからない時もある

子どもによって「知的な遅れ」は違うし、「障害特性」の状態も異なるから、自閉症児といっても「十人十色」。でも、みんな、同じような「生活のしにくさ」を持っている。そして「自閉症」だからこそ、とても純粋で、律儀で、ユーモアのある世界を作り出してくれる。それを、私たちは、「自閉症の文化」と呼んでいます。